

祝 2020合格体験記

内山 真穂 さん 佐世保北高卒 バドミントン部

九州大学

法学部 合格

諦めなくてよかった!



苦しい時こそ成長のチャンス!

私が合格して思うことは、「諦めなくてよかった」ということです。センター試験本番で自己最高得点を70点下回り、東進の判定はD判定でした。それでも九大を諦めたくなかったので受験を決意し過去問演習講座に取り組みました。「チャンスはピンチの顔で現れる」と言いますが、今回の受験でそれを強く実感しました。いま勉強で悩んでいる人、校内順位が下がった時、模試で判定が厳しかった時、その苦しい時が、あなたが成長できるチャンスです。自分の力を信じてコツコツ勉強を続けてください。応援しています。

テストを活用して理解度を高める!!

私は6年間バドミントン部に所属していたので、部活との両立は大きな課題でした。普段の生活では学校の課題を絶対に自力ですること、東進の受講をすることの2点を心がけました。そして部活が休みとなるテスト期間にひたすらテスト範囲のまとめや復習、演習をやっていました。テスト勉強で疑問を解決し、テストで目標点数や順位を達成できるように理解度を高めました。高1・高2の基礎固めは大切です。高3になって苦労しないように、定期テストや模試を軽視せず、真剣に取り組んでください。

数学の長岡先生に感謝!

私は「数学ぐんぐん」という講座を受講しました。最初は難しくていやになっていましたが、高2・高3になって数学の成績が上がったので続けました。この講座のおかげで苦手科目をなくすことができたので長岡先生にはとても感謝しています。また、二次の過去問演習講座で英語の渡辺先生、国語の西原先生の解説授業を受けてとてもためになったので、このふたりの講座もおすすめです。